

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：平成 31年 3月 1日

事業所名 チャイルドウィッシュ蘇原

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	0	広いスペースを確保し、遊具が活動の妨げにならないよう配置してある。	活動内容や利用者の状況を考慮しながら、外部の施設などの広い施設を利用しています。
	2	職員の配置数は適切である	4	1	0	職員募集中。各学校の送迎時間が重なる場合、人手が不足、人員配置に悩むことがある。	法令で必要とされる人員配置基準を満たした職員数を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	3	1	現在、バリアフリー化は適切ではないが、対象児童によって対応している。	利用者の状況に応じ、適切な環境整備をするよう心掛けています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	0	日々の支援の振り返りは、随時職員間で行っている。	日々の支援の振り返りは、随時職員間で行っています。今後も継続して情報共有し、業務改善につなげていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	0	5	0	今回初めてのアンケートなので今後につなげていく。	アンケート調査での結果を職員間で話し合い、今後の業務改善へつなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0	5	0	今回初めてのアンケートなので今後につなげていく。	自己評価結果は、ホームページにて公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3	2	事業所全体の外部評価は実施していない。	外部機関において支援の適正を評価していただいています。今後の課題だと考えています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	可能な限り積極的に行っている。	随時研修会などに参加し、資質向上を目指しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	保護者、スタッフ、相談支援員から聞き取りを行い、児童発達支援管理責任者が計画を作成している。	事業所内で共通のアセスメントシートを用いて評価をし、子どもや保護者のニーズに沿った計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	0	事業所グループ内の統一ツールがある。	事業所内で共通のアセスメントシートを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	イベントは職員ミーティングで決めている。	職員間で情報を共有しながら、活動プログラムを立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	0	プログラム活動は行っていないが、利用者の状況や人数に応じて、安全に楽しい時間を過ごしていただけるよう、活動を工夫している。	今後も工夫した活動を継続して行います。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	2	1	平日は運動療育や創作活動、土曜日は外に出て様々な経験を積めるような活動内容になっている。	平日、休日、長期休暇に応じて、運動療育や創作活動、外に出て様々な経験を積めるような活動内容になっています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	粗大運動、微細運動などを取り入れ、ルールのある遊びを子どもの状況に応じて作成している。	子どもの状況などを考慮して組み合わせを決定し、放課後デイサービス計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	毎朝、職員全員でおこない、情報共有できるようにしている。	毎朝ミーティングを行い、必ず職員間で伝達事項と子どもの様子の確認を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	0	翌日、ミーティングにて全共有。保護者様との相互の連絡事項、その日特に気になったこと、早急に相談すべきことに関しては当日共有している。	支援後には、送迎時の保護者からの連絡事項をメモとして可視化し、翌朝の職員間で情報を共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	日々の支援は、HUG(PC)やリトム(連絡帳)に記録し、保護者様へ公開している。HUG以外でも、子どもの記録を残すようにしている。	日々の支援の様子は、ケア記録・生活記録として毎回記入し、支援の検証・改善につなげています。
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	定期的な年2回。及び、必要に応じてモニタリングを行っている。	6ヶ月ごとにモニタリング、アセスメントを実施し、計画の見直しをしています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	0	0	児童発達支援管理責任者が中心になって、スタッフと話し合いながら行っている。	ガイドラインを意識して、利用者の発達段階、特性、年齢に応じた支援内容を盛り込むことが出来るよう心がけていますが、まだ不十分な部分もあると思われます。ガイドラインの視点を取り入れつつ、今後もより適切な支援内容を設定できるよう努めます。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	0	5	0	今年度は、会議がなかった。	今年度は、会議がなくて参画していませんが、あれば、児童発達支援管理責任者及び指導員が会議に参画予定です。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	2	0	現在、学校からは、年間計画・行事予定・下校時刻表などいただけていないが、保護者からいただき、送迎の調整などを行っている。担任とは、学校へのお迎え時に情報共有できるようにしている。	学校へのお迎え時に情報共有が密にできるように、今後の課題として支援内容の充実に努めます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	0	5	対象となる子は受け入れしていない。	医療的ケアが必要な子どもの受け入れがないため、専門職員の配置はしていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	5	0	相互に出来ていないのが現状。	今後、必要に応じて情報共有していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	4	1	設問に該当する事例が発生していない。	現在、移行支援は実施していませんが、今後、必要に応じて行っていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	0	児童発達支援管理責任者が、センター主催の研修に参加している。	研修会に参加したり、個別のケースに対する助言をいただくなど、専門機関と連携を図りながら日々の支援を実施しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	1	4	連携の機会がなく、交流できていない。	今後の課題として支援内容の充実に努めます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	0	0	児童発達支援管理責任者と指導員、代表が積極的に出席。	継続して行っていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	送迎時、来所時に行っている。	送迎時や個別懇談時に保護者の方とお話をさせていただき、子どもの状況や課題について共通理解ができるよう努めています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	5	0	今後行っていきたい。	今後は、保護者向けの学習会などの開催を検討してまいります。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0	契約時に説明している。	利用前の面談、契約時に丁寧な説明を心掛けています。ご不明な点がございましたら、随時職員に申し出ください。改めて説明させていただきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0	モニタリング、電話、送迎時、来所時に、保護者様からの要請に対して支援を行っている。	育児に関する相談などにつきましては、随時対応させていただきますので、お申し出ください。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	0	月1回「親の会(茶話会)」を実施し、保護者同士の交流の機会を設けましたが、参加者数が少ないのが現状。	月1回「親の会(茶話会)」を実施し、保護者同士の交流の機会を設けましたが、参加者数が少ないのが現状です。今後も改善しつつ、交流の機会をもてるよう努めます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0	家庭訪問や関係機関訪問は、内容によってはすぐに動ける体制を整えている。	苦情・相談窓口の詳細は契約書の重要事項説明書に記載しております。苦情・相談が寄せられた場合は、迅速かつ適切に対応させていただきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	0	月に1度のお便り「なかよし」を発行。	月に1度、お便り「なかよし」を発行し、毎月の行事などをお知らせしています。
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0	出勤時、個人のスマホはロッカーに保管し、写真などの記録は業務用のスマホを利用し事業所内のみで保管。	個人が特定できる写真、名前、個人情報などが記載してある物の取扱には十分注意をしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	状況に応じて視覚的情報などを活用。	状況に応じて視覚的情報などを活用して、意思の疎通や情報伝達に努めています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	0	5	特に地域住民を招待する事業は実施していない。	地域住民を招待するような事業は予定していませんが、散歩に出掛けた際には挨拶をするなど継続してまいります。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1	2	マニュアルは策定している。	職員や保護者への周知が十分ではなかった部分がありますので、今後は保護者への周知の方法を工夫していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	0	年2回半年ごとに行う予定。10月に避難経路確認しながら避難所となる小学校まで歩いた。	子どもの状況に配慮しながら、避難訓練の実施や動きの確認などを継続していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	毎月末「虐待防止チェックリスト」でのチェックを全職員で行っている。	毎月末、虐待防止チェックリストを用いた評価を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	5	0	現在、対象となる子は在籍していない。	対象児がいる場合にのみ対応予定。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	5	0	契約時、保護者からの聞き取りを徹底している。現在、重篤な食物アレルギーの子どもはいない。	保護者からの聞き取りをした結果を職員間で共有しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	作成して共有。	事例集を作成し、職員間で情報を共有しています。